

東日本大震災からの10年ワークショップ

災害廃棄物対策の ふり返りと今後の展望

倉敷市環境リサイクル局 リサイクル推進部
一般廃棄物対策課 大瀧慎也

災害に強い地域づくりの理念（あるべき姿）とは

「災害からの復興と防災・減災を意識した社会の構築」

- (1) 地域全体に防災・減災の意識が根付いた社会の構築
- (2) 災害が起きても、誰一人取り残さない
- (3) 災害の経験を将来に活かす

豪雨災害の経験と教訓

防災・減災に向けた取り組みを通して、自助・共助・公助の力を合わせ、地域全体で災害に立ち向かい、共に生き抜く環境をつくること

倉敷市「SDG s 未来都市」「自治体SDG s モデル事業」

- ・多様なステークホルダーとの連携を通じて地域における自律的好循環を図る



災害廃棄物処理については

- ・「SDG s 災害廃棄物処理官民連携事業」を実施



SDG s 未来都市

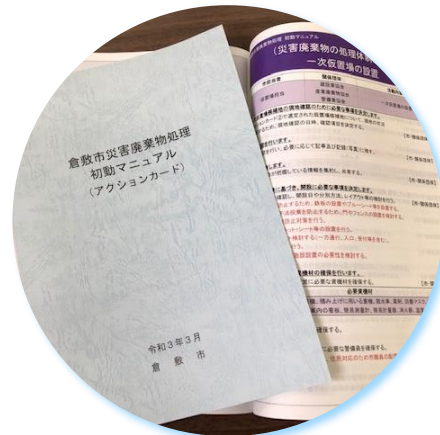
経験に基づく「平時からの取り組み」

災害廃棄物処理の「しくみ」づくり

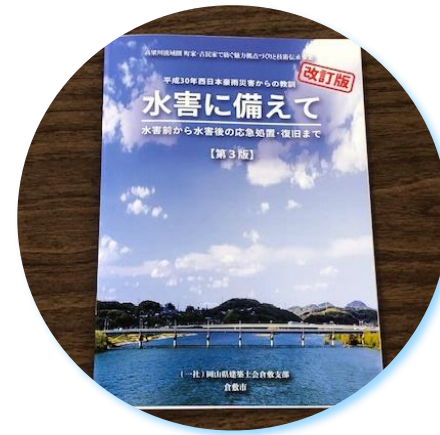
- ・官民連携による初動マニュアル
- ・他機関との連携

連携会議の開催

「水害に備えて」の作成



災害廃棄物処理初動マニュアル



水害に備えて（建築士会倉敷支部）



水害に備えて

災害廃棄物処理の「理解」と「周知」

- ・災害廃棄物処理ハンドブックの作成
- ・6か国語版の作成
- ・出前講座の実施



災害廃棄物処理ハンドブック



ハンドブック



倉敷市出前講座

「福祉」と「まちづくり」への視野の拡大

必ずしも「生活再建」だけでなく、「地域の文化」を取り戻すこと

「重層的支援」を行うために必要なこと



多機関協働のために平時から地域資源をつなぐしくみづくり

★「災害廃棄物処理」は災害からの復旧・復興のための一つの「手段」であって単なる「目的」ではない

- ・顔が見える関係づくり → スピーディな初動対応
- ・平時からの「人づくり」「地域づくり」

地域の「文化」として蓄積